

# 令和3年度 学校評価(教職員アンケート)の結果と改善策

昭和町立押原小学校

学校教育目標	
<b>仲間とともにたくましく 明日を生き抜く力をもつ子ども</b>	
自分の考えをもち 自ら学ぶ子ども(知) …かしこい子 豊かな心で 仲間を思いやる子ども(徳) …やさしい子 体をきたえ 最後までやり抜く子ども(体) …たくましい子	
重点目標	
(1) コミュニティ・スクールの取組を通じた、学校・家庭・地域との参画・協働・熟議・互惠による教育 (2) 地域人財や地域素材，ソーシャルキャピタルを生かした地域に根ざした教育 (3) 外国語活動・外国語科，キャリア教育，ICT活用等の，次代を担い，生きる力を育むための，特色と魅力ある教育 (4) 生活・学習・行動の基本的な習慣・規律の定着を図る取組を通じた生きる力を育む教育 (5) 学校の施設設備や教育環境を生かした多様な学習と質の高い授業による教育 (6) 学級等の集団による協働的な取組と，家庭学習等を通じた子ども一人一人による自律的な取組の実現を図る教育	
今年度の重点目標	
(1) 新型コロナウイルス感染防止策をふまえた，安全・安心な学校生活のための新しい様式の検討と実践 (2) 学校評価のための各種アンケートや，学校運営協議会，地域学校支援会議，地域学校協働活動が関わる取組にかかる検討と改善 (3) PTA・関係機関，近隣の保・幼・小・中・高の各校園との連携・協働を通じた実践 (4) あいさつや返事のしかた，ノートのとり方，家庭学習の方法，読書活動の進め方，学校や地域での過ごし方等の定着にむけた計画的，段階的な指導 (5) 「考え，議論する道徳」や「思考力・判断力・表現力」の育成等に向けた授業改 (6) 児童の実態の確かな見取りや，組織的な児童理解を進めるための各種校内委員会・会議等の計画・実 (7) 個のニーズや集団の状況に応じた指導の方法・体制等に関する継続的な評価と改善	

## 1 評価の方法

学校職員による評価である。回答者が、「そう思う」，「ややそう思う」，「あまりそう思わない」，「そう思わない」の各選択肢で評価した。評価の回数は2回で，時期は7月(前期)と12月(後期)である。各選択肢の割合(%)を算出している。

評価項目	評価事項	改善策
(1) 学校教育目標について・学校経営	① あなたは，学校経営方針に基づき，教育活動を行っている。 	継続した21世紀を生き抜く児童育成の推進。
	② あなたは，学校の教育活動計画に基づき，実態に即した教育実践を行っている。 	児童理解及び児童主体の教育の推進。

(2) 学習指導について	③	<p>あなたは、PDCAサイクルを生かした教育活動を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Grey (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>28%</td> <td>68%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>29%</td> <td>71%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)	前期	28%	68%	4%	後期	29%	71%	0%	<p>学年間または異学年間での情報共有の強化。</p>
	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)											
	前期	28%	68%	4%											
	後期	29%	71%	0%											
	<p>前期に比べると評価指数が全体としても上がっている。それぞれの学年・学級において、経営方針に基づき教育活動を行えたといえる。また、課題が出てもすぐに解決に向かって取り組みを開始するなど、素早い対応が見られた。また、前回の課題であったPDCAサイクルにおいても職員間で情報交換を行う時間を作るなど改善を行ってきたことが、よい結果になった。しかし、まだまだ高い数値とは言えない。今後は、様々な教育活動の実施後は、成果と課題等の分析を行い、職員会議等で周知を図り、その有効性及び有用性について検討し、次年度へ引き継ぎたい。</p>														
①	<p>あなたは、民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Grey (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>55%</td> <td>41%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)	前期	55%	41%	5%	後期	80%	20%	0%	<p>発達段階に応じた目標の共有化や可視化。</p>	
時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)												
前期	55%	41%	5%												
後期	80%	20%	0%												
②	<p>あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>65%</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>70%</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	前期	65%	35%	後期	70%	30%	<p>反復学習やドリル学習を取り入れ基礎・基本の定着を図る。</p>				
時期	Blue (%)	Orange (%)													
前期	65%	35%													
後期	70%	30%													
③	<p>あなたは、思考力や表現力などを高める授業に努めている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>36%</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>30%</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	前期	36%	64%	後期	30%	70%	<p>子どもが自分の考えを記述・表現する方法を指導していくことや授業内での活用を改善していくこと。</p>				
時期	Blue (%)	Orange (%)													
前期	36%	64%													
後期	30%	70%													
④	<p>あなたは、児童の道徳心を高める授業を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Grey (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>71%</td> <td>24%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)	前期	50%	50%	0%	後期	71%	24%	5%	<p>各教科や日々の児童指導と連携し、相乗効果を図る。</p>	
時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)												
前期	50%	50%	0%												
後期	71%	24%	5%												

	<p>(2)⑥あなたは、児童の体力向上や健康の保持増進のための指導を行っている。</p>	<p>コロナウイルス感染症予防対策をする中での体育授業の充実、特に体力づくりとして短縄での体力作りに取り組んだ。</p>
	<p>あなたは、家庭学習について家庭と連携を図っている。</p>	<p>一人一冊のノートを作成し、家庭学習のやり方等を周知する。</p>

前期と比べると評価指数が上がっている。校内研究を通して子どもたちの成長過程や課題についての共通理解を図ったことにより、授業改善が進んだ。また、各学年の実践を参観し合うことにより、よりよい授業方法等を共有することができた。具体的に目指す子ども像に近づいている姿も見られ今後も児童の成長をうながすことができる実践を続けていきたい。今後は、自分の考えをどのように表現していくのかという方法等、相手・目的・場面を意識していくための系統的な学習指導の内容を具体的に探り実践していけるとよい。2学期になり、児童の体力向上をめざした運動として、なわとびの取り組みを適宜実行してきた。アクティブ・チャイルド・プログラムの事業を活用し、走・跳の運動を行うことができた。

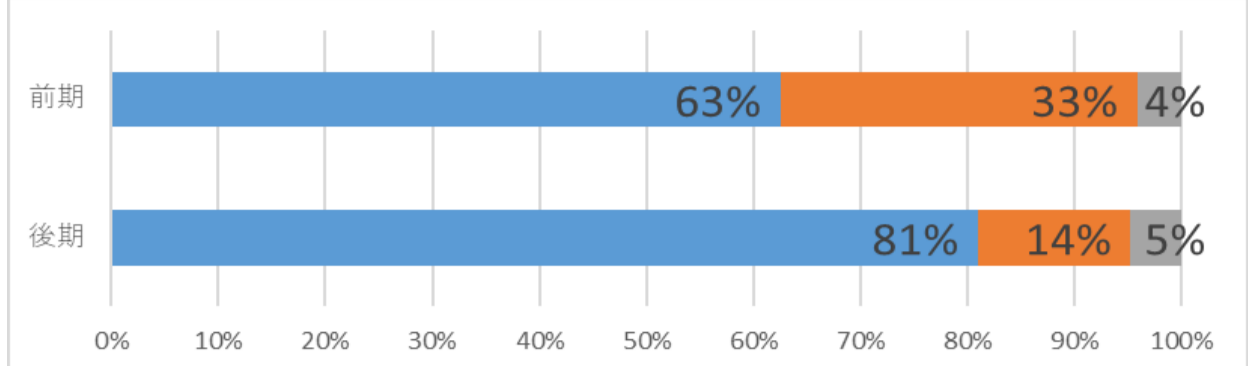
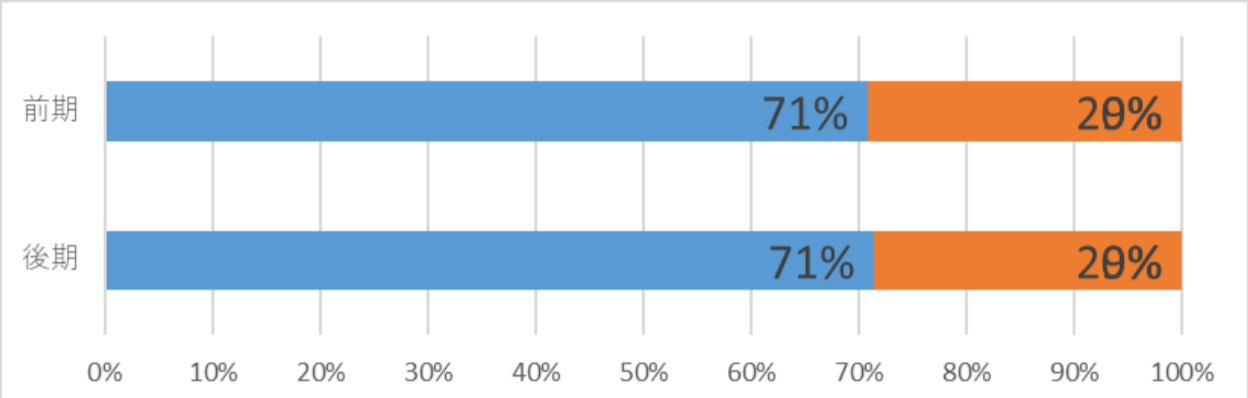
<p>(3) 安全指導について</p>	<p>あなたは、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。</p>	<p>横断歩道の渡り方や挨拶などの継続した指導。</p>
	<p>あなたは、災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる。(避難訓練・防犯訓練等)</p>	<p>各学期ごとに実施している避難訓練を通して、危機管理の徹底を図る。</p>
	<p>あなたは、コロナ感染症予防の対策を適切に取り組んでいる。(健康チェック表・手指の消毒・マスク着用・教室の換気・給食前の机の消毒等)</p>	<p>児童会活動とも連携し、手指消毒や換気を促し徹底する。</p>

前期に比べると評価指数が上がっている。感染症予防のため登校中も話をしないことを指導したり、特別教室に入室の際には手指消毒の徹底を行ったこともよい結果となった。しかし、秋頃にかけてコロナ感染が落ち着きを見せ始めたころ、マスクを外している児童がいたこともあったので、継続した指導を心掛けたい。ただ、それが体育時だったり暑さ対策だったりと常時着用させることが難しかった。状況も把握した上で取り組みたい。さらに児童会を中心に、児童が主体的に自らの生活を見直し向上させていけるような取り組みも考えていきたい。

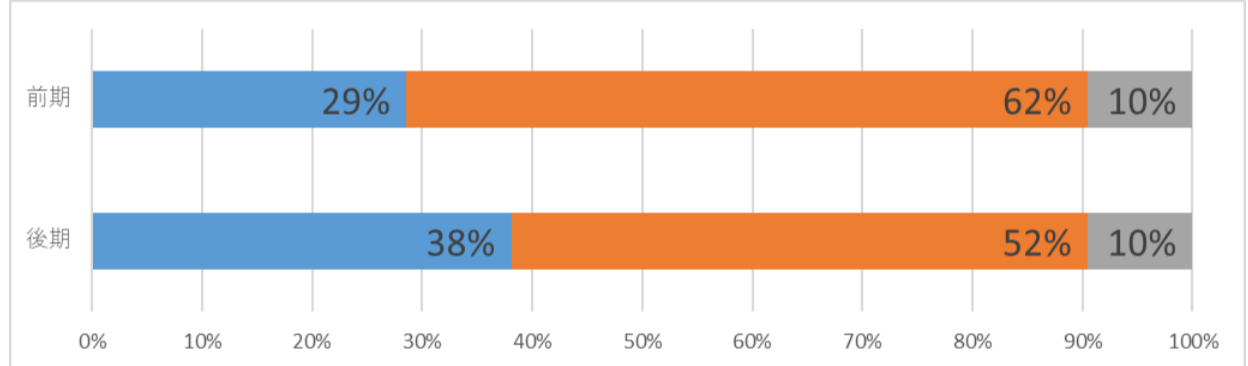
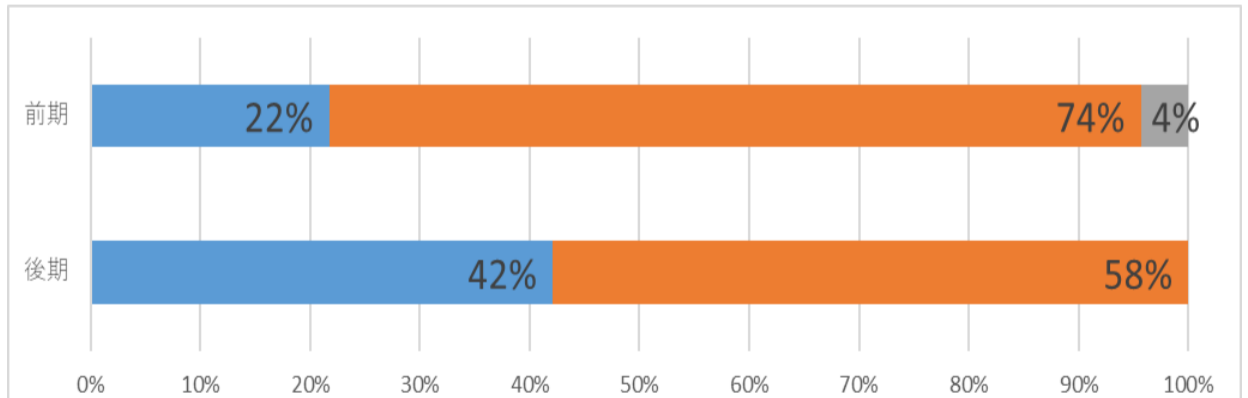
(4) 保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互惠を基調とした開かれ学校づくり	①	あなたは、学年便り等を、家庭・地域への情報源として活用し、よりよい信頼関係づくりに役立っている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Grey (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>48%</td> <td>48%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)	前期	48%	48%	5%	後期	50%	50%	0%	HP, ブログ, ネットワーク押原等の充実。
	時期	Blue (%)	Orange (%)	Grey (%)												
	前期	48%	48%	5%												
後期	50%	50%	0%													
②	あなたは、授業参観や家庭訪問等から、相互に理解を深めたり、課題を共有したりする機会にしている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Yellow (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>76%</td> <td>19%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Yellow (%)	前期	50%	50%	0%	後期	76%	19%	5%	感染症対策を行いながら、学校・家庭・地域が連携を行える場機会の設定。	
時期	Blue (%)	Orange (%)	Yellow (%)													
前期	50%	50%	0%													
後期	76%	19%	5%													
③	あなたは、保護者の意見や要望に対して適切に対応している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> <th>Yellow (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>60%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	Yellow (%)	前期	60%	40%	0%	後期	80%	15%	5%	迅速かつ適切な対応。	
時期	Blue (%)	Orange (%)	Yellow (%)													
前期	60%	40%	0%													
後期	80%	15%	5%													

前期と比べ評価が高くなった。地区別として人数の調整を図りながらの授業参観や道徳公開など行事が徐々に実施できるようになったことで少しずつ来校する機会も増え、保護者も安心してきていると感じる。また学校通信「ねっとわーく押原」、ブログ、ホームページなどの学校よりの情報発信が後期も頻繁に行われた。このような状況の中でも、保護者や地域の人々参画・協働・熟議・互惠を基調とした開かれ学校づくりに努めた。

(5) ついて 生徒指導に	①	あなたは、児童理解のためにコミュニケーションを図っている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>Blue (%)</th> <th>Orange (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>75%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>76%</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	Blue (%)	Orange (%)	前期	75%	25%	後期	76%	24%	児童との毎日の会話や表情、授業の様子また、友達関係等一つ一つを細かく見ていく。
時期	Blue (%)	Orange (%)											
前期	75%	25%											
後期	76%	24%											

	<p>あなたは、問題行動（いじめ・不登校等）の早期発見・早期対応ができています。</p> 	<p>日常の様子を把握するだけでなく生活アンケートも活用し、早期発見・早期対応に備えている。</p>
	<p>あなたは、教職員間で生徒指導上の課題を共有することができている。</p> 	<p>学年間または異学年間での情報共有の取り組み。</p>

前期とほぼ同等の評価指数であった。教室前での健康チェックを通し、子ども達の声色や表情から普段の様子と違うかどうかなど、コミュニケーションを取りながら細やかに把握され、違和感を感じた際は、素早く対応をしてきた。また、児童アンケートからも児童が安心して生活できていることもうかがえた。今後も児童理解の機会やケース会議などを有効に活用し、共通理解を図っていきたい。

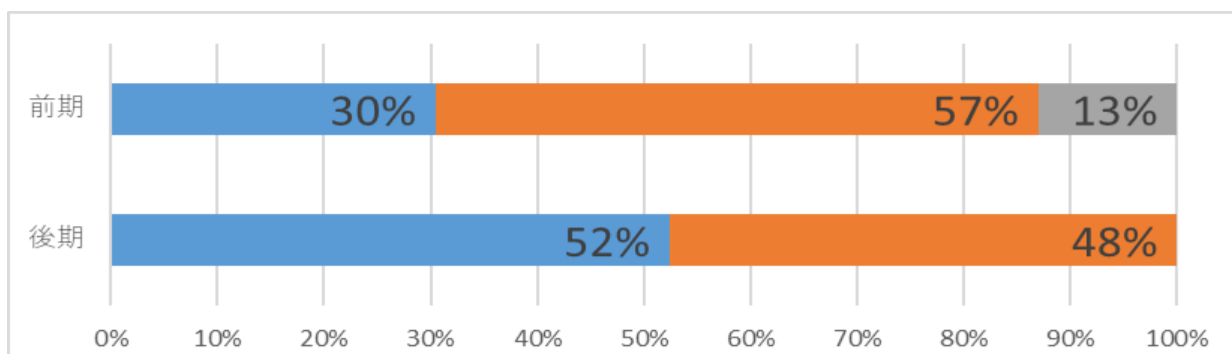
<p>(6) 多様な学習と質の高い授業の実践</p>	<p>あなたは、iPad・パソコン・電子黒板等の電子機器を活用した授業を実践している。</p> 	<p>情報機器の活用と情報活用教育の推進。</p>
	<p>あなたは、個に対応したきめ細かな指導を実践している。</p> 	<p>人的環境の充実。校内支援会議の推進。</p>

前期に比べると評価指数が上がっている。ICT教育環境を活用し、児童がよりよく授業内容を理解することができている。GIGAスクール構想による児童一人一台PC，教師用PCが入り、授業内外において、様々な用途に応じ、活用し始めてきた。GIGAスクールサポーターも有効活用し、限られた授業時間内で効率よく指導を行うこともできてきている。今後も研修や実践を積み、質の高い授業づくりを目指していく必要がある。

(7) めざす教師像

あなたは、教員かつ公務員としての職責を果たすために、研修を積み、創意工夫をしている。

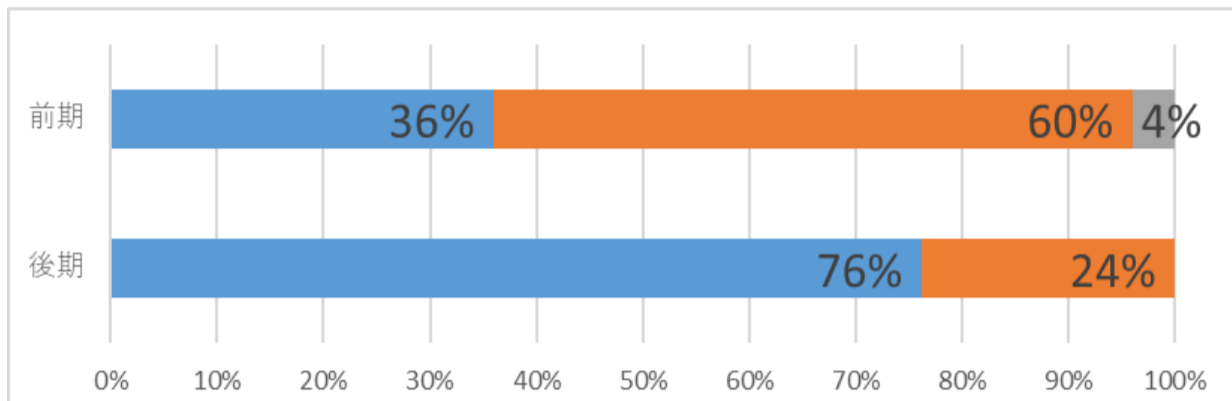
①



自発的な研修, 研究の推進。

あなたは、職員会議や校内委員会、校内研究等へ積極的に参画している。

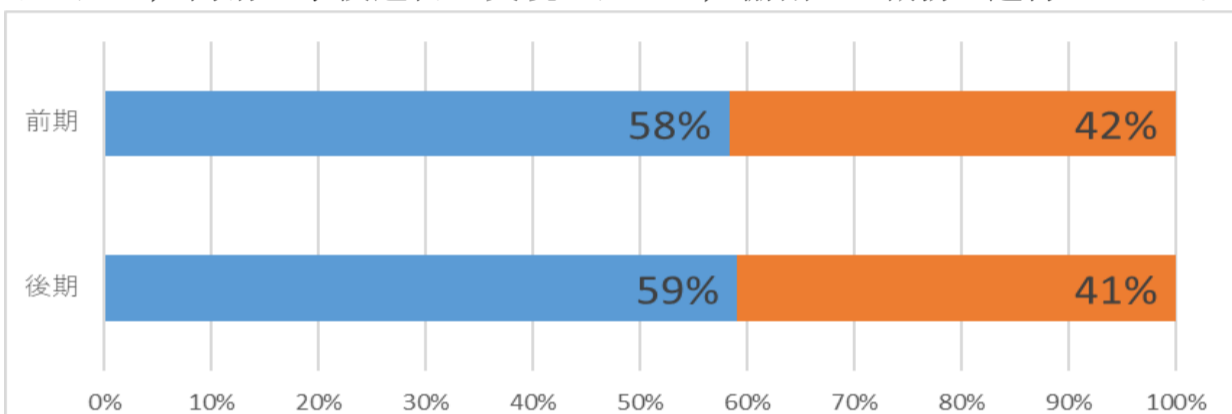
②



効率的, 効果的な教育活動の共通理解。

あなたは、円滑な学校運営の実現のために、協働して職務を遂行している。

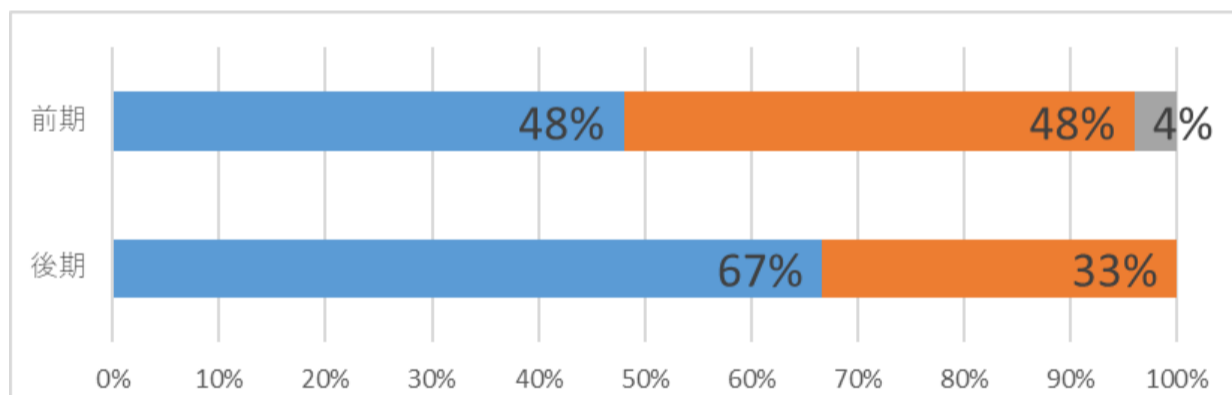
③



協働した職員間の連携充実。

あなたは、保護者や地域住民等と望ましい人間関係を築くことに努めている。

④



保護者や地域との連携・協力推進。

前期よりも評価指数が上がっている。本校の職員は、教育公務員としての自覚をもち、児童のために創意工夫をし、職務を遂行している。また、円滑な学校運営のため、全職員が協働し、安心安全で信頼される学校づくりに励んでいる。今年度も全世帯の保護者を対象に学校評価アンケートを実施した。さらに本年度から児童全員へのアンケートも行った。広く意見を聞く中で、保護者や地域の方々との望ましい人間関係を作りに努めていきたい。